

平成30年度に向けた政策要望について

8月29日(火)に太田稔彦市長に平成30年度に向けた政策要望の申し入れをしました。その概要について下記のとおりご報告いたします。



1. 豊田市議会の会派「市民フォーラム」とはトヨタ系市議会議員 10 名で構成しています。

2. 要望活動のタイミング

市民や地域、更には、企業や各種団体等のご意見を市政に反映させるため、市の次年度に向けた事業計画や予算編成のタイミングに合わせて要望活動を実施しています。

豊田市では、一番効果的な時期は、次年度の計画開始時期が9月頃であり、例年8月末までに要望しています。

3. 今回の要望内容の特徴

今回の具体的要望は①安全安心なまちづくり②住み続けたい快適なまちづくり③持続可能なまちづくりの3つの柱で構成。

ゲリラ豪雨や地震等の減災に向けた取組や待機児童対策や介護を含めた高齢者施策、法人市民税の一部国税化等による厳しい財政状況に備え、安定した税収に繋がる産業の強靱化や家族形成期世帯へのタイムリーな住宅提供、観光の産業化、2019年ラグビーワールドカップを通じたまちづくり施策など、住みたい・住み続けたいと選んでいただける、持続可能なまちづくりとなるように21のカテゴリーで32項目を要望致しました。

4. 市長からのコメント

日頃より市民フォーラムの皆さんには、豊田市行政へサポートいただいていることに感謝している。豊田市も財政的に厳しいが顕著な企業努力もあり、ある程度の歳入が見込めるため今後やり残した事業等を精査して要望内容も考慮しながら前向きに検討させていただく。

(3) 豊田市への具体的要望内容

	要望内容	具体的内容
安全・安心 なまちづくり	犯罪のないまちづくりの推進	①防犯カメラの設置拡大に向けた取組
	自然災害に備えた防災・減災力の強化	①防災ラジオの普及促進 ②河川カメラの実用性向上 ③総合治水対策の推進
	交通死亡事故削減に向けた取組の強化	①自転車利用における交通ルールの周知 ②交通法規の遵守に向けた取組 ③歩行者保護モデルカー活動の拡充
住み続けたい快適なまちづくり	都市機能を高め更なる発展を支える道路整備	①主要幹線道路と接続する市道整備の推進
	地域共生社会の実現に向けた取組	①健康と福祉の相談窓口拡充に向けた取組 ②介護ロボット導入促進への取組
	医療提供体制の構築に向けた取組	①病院間の診療データの連携実現に向けた取組 ②在宅医療推進に向けた啓発強化
	特定健康診査受診率および特定保健指導完了率向上への取組	①受診率・保健指導完了率向上に向けた体制強化
	教員の多忙化解消に向けた取組	①部活動の外部指導者導入に向けた体制づくり
	いじめの早期解決に向けた取組強化	①子どもが悩みを相談しやすい環境づくり
	教育環境の施設整備	①エアコン設置による暑さ対策の推進
	保育環境整備に向けた取組	①保育施設の受入れ枠拡大 ②民間移管するこども園の質の確保
	高齢者の社会参加の推進	①定年後も活躍できる地域活動への誘導支援
持続可能なまちづくり	企業誘致推進の更なる強化	①企業誘致に向けた産業用地確保への取組
	ものづくり産業を支える中小企業への支援	①中小企業の生産性向上に向けた取組
	定住促進につながる取組強化	①家族形成期の転出抑制に向けた宅地供給への取組 ②民間活力を生かした住み替え誘導への取組
	観光の産業化に向けた取組	①地域資源を生かした観光振興への取組
	ラグビーワールドカップ2019を成功へ導く取組	①大会レガシー醸成につながる取組推進 ②地域の特性を生かした宿泊施設の整備促進 ③国際イベントに向けたテロ災害対策の強化
	スマートシティの実現に向けた取組の推進	①豊田市つながる社会実証推進協議会の取組周知
	自動運転実証実験の推進	①自動運転レベル4に向けた実証実験フィールドの整備
	事務・事業の最適化に向けた取組	①歳出削減に向けた事業見直し計画の策定 ②AI（人工頭脳）を活用した事務事業の効率化
	業務継続計画（BCP）の推進	①非常時優先業務対応への計画策定

(4) 今後の進め方

平成30年2月の施政方針立案までの間、一般質問や各常任委員会等あらゆる場を通じて、要望内容が反映されるよう、積極的に働きかけを行います。